

副専攻名 比較社会経済[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

国際経済や経済史に加えて、世界各地の社会や経済を学ぶ専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
5. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為に政策立案能力を養う。
8. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
9. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学年	開講期	
			前期	後期
13302	西洋経済史A	2~4		
33501	西洋経済史B	2~4		
13301	日本経済史A	2~4		
33505	日本経済史B	2~4		
13304	アジア経済史A1	2~4		
13305	アジア経済史A2	2~4		
33547	アジア経済史B1	2~4		
33549	アジア経済史B2	2~4		
13402	社会思想史A	2~4		
33511	社会思想史B	2~4		
33513	世界経済論A	2~4		
33515	世界経済論B	2~4		
33517	国際公共経済論A	2~4		
33519	国際公共経済論B	2~4		
33531	社会言語学A	2~4		
33533	社会言語学B	2~4		
33539	国際金融論A	2~4		
33541	国際金融論B	2~4		

副専攻名 比較社会経済[基礎]**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

国際経済や経済史に加えて、世界各地の社会や経済を学ぶ専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
5. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為に政策立案能力を養う。
8. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
9. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学年	開講期	
			前期	後期
33551	国際経済学1	2~4		
33553	国際経済学1E	2~4		
33555	国際経済学2	2~4		
33557	国際経済学2E	2~4		

※ 授業科目の内容および開講期は、Webシラバスでご確認ください。